

るなり、角は鳥犀角に似たり、

カチコルベ 形は未詳、角一本にて水面に振立て見ゆれども、其形は不見得、依て去らず、近よる時は香氣に酔ふて煩ふ也、

テクンヘコルベ 松前にてシヤリ蟹といふ、首は蟹にて尾は蝦なり、頭中に眞珠あり、紅毛人持渡る、ヲクリカンキリなり、

カカモコルベ 松前にてコツコといふ魚にして鱗なし、腹のごとし、腹に菊の花のごとき心ほありて、是にて岩に吸付居る、味ひ軽く淡きもの也、

ロコン アツケシの小沼にあり、性は魚にて、形は角なり、總身に刺利有、其形はヲコゼといふ魚に似たり、毒魚なりとぞ、

ヲシユルコマ 鱸の形に似て、肉は鱸のごとし、味ひ至つて美なり、エトロフ島の先より島々に多し、

ウルツプ 鱒のごとくにして大也、肉は至て赤く、味ひ甚だ美なり、煮焼て猶また赤く海老のごとし、

レプタチリ 形色ともに鳥のごとくにして、頭あかし、クナシリ島よりさききにあり、

エトヒリカ 色彩とも鳥の如く、口背赤く、エトロフ島邊に多くあり、

フンツシヤムチリ 雀のごとくにて大なり、目玉甚だ美しく、眉毛あり、背の上に毛ありて異形なり、

クシ子レキ 松前にて鳥鳥といふ、すはかりたる形の高さ二尺計あり、

シリカブ 魚にて形は鮫のごとくにして、身の丈七尺計あれば、上唇の長さ六尺ばかりもあり、不釣合なるものなり、